

第5学年 総合的な学習の時間学習指導案

指導者 橋本市立三石小学校

野田 直香

1. 単元名 お世話になった人にお雑煮でおもてなしをしよう

2. 単元の目標

- ・野菜作りにおける苦労や工夫に気づき、活動に活かすことができる。(知・技)
- ・日本の文化のすばらしさを知り、多面的多角的に考えたことをまとめて発表することができる。
(思・判・表)
- ・活動を通して、日本や地域に関心を持ち、自分の知りたいこと・調べたいことを明確に進んで調べることができる。(主学)

3. 単元について

(1) 教材観

夏野菜の栽培活動をふり返り、お世話になった人々の存在に気付かせる。その人々に感謝の気持ちを伝えるための活動として、お雑煮作りに取り組む。自分たちの食べているお雑煮をもとに、地域性を調べたり、まとめたりする活動を通して、友達と協力して活動することの良さや重要性を感じることができる教材である。また、お雑煮に使う野菜を自分たちで栽培することができないかを考えることで、夏野菜作りの経験を活かすことのできる活動にもなる。このような活動を通して、目的や見通しをもって計画し、実行する行動力が身につくと考えられる。

(2) 児童観

本学年の児童は、何事にも進んで取り組む事のできる児童が多い。夏には、いろいろな種類の夏野菜を栽培し、無人販売所を設置し野菜の販売も行った。その活動を通して、自分たちのがんばりを地域の人々に向けて発信することができた。

(3) 指導観

夏野菜を栽培した経験をふり返り、その活動を支えてくれた人々の存在に気づかせる。そして、その人々に感謝の気持ちを持つとともに、今後、「お世話になった方に感謝の気持ちを伝えることを目的に活動する。」という見通しをもたせる。そこで、感謝を伝える方法としてお雑煮作りを提案する。冬休みの宿題でそれぞれの家庭のお雑煮について調べて交流することで、食の多様性にも気づかせたい。さらに、それぞれのお雑煮の由来を調べる活動を通して、地域性についても考えさせたい。

自分たちが栽培したもの(餅米、さつまいも、大根、かぶ、人参など)を使って友達と協力して調理させる。その中で、責任を持って活動することの大切さや友達と協力して活動することの良さに気づかせたい。

(4) ESD との関連

- ・学習を通して主に養いたい ESD の視点
 - 【多様性】：お雑煮調べを通して、食の多様性に気づくことができる。
 - 【責任性】：自分の役割に責任をもって取り組む。
 - 【連携性】：友達と協力して活動する。

・学習を通して主に育てたい ESD の資質・能力

・協働的問題解決力

グループや集団での活動を通して、協調性を養い主体的に活動していく力を身につける。

4. 評価規準

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
①野菜について調べ、まとめる。 ②調べたことを活かし、栽培活動をする。	①調べたり、育てて気づいたりしたことをまとめる。 ②食の多様性や地域性に気づく。	①友だちと協力して活動する。 ②野菜や料理について、意欲的に調べる。

5. 単元展開の概要

全15時間

主な学習活動	学習への支援	◇評価 ・備考
1. 夏野菜を作った経験を振り返る。	・今までの経験を振り返り、活動でお世話になった人の存在に気づかせる。	◇お世話になった人の存在に気づく。
2. お世話になった人に感謝の気持ちを表す方法について話し合う。	・自分たちにできることを考え、目的を持って活動に取り組んでいけるようにする。 ・自分たちで作った餅米を使うことはできないか助言する。	◇友達と協力して活動する。〈主学①〉 ◇ワークシートに記入する。
3. お雑煮に使うことのできる野菜について調べる。	・分からないことはインターネットや図書を利用して調べてよいことを伝える。 ・必要な情報の探し方を伝える。	◇野菜について調べ、まとめる。〈知・技①〉
4. 実際に栽培活動をする。		◇調べたことを活かし、栽培活動をする。〈知・技②〉
5. 調べたことをまとめる。	・分かりやすく伝えることを意識して取り組ませる。	◇調べたり、育てて気づいたりしたことをまとめる。〈思・判・表①〉

<p>6. お雑煮調べをし、交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・冬休みに調べてきたことを交流させ、いろいろなお雑煮があることに気づかせる。 	<p>◇食の多様性や地域性に気づく。〈思・判・表②〉</p>
<p>7. 様々な種類のお雑煮を知り、その由来や作り方を調べる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットを活用させるだけでなく、お家の人にインタビューをさせたりする。 	<p>◇野菜や料理について、意欲的に調べる。〈主学②〉</p>
<p>8～9. 餅つき体験をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に配慮し、杵と臼で餅をつかせる。 	<p>◇意欲的に活動する。</p>
<p>10～11. お雑煮を調理する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちで作った野菜や餅を活用し、お雑煮を作る。 	<p>◇友達と協力して活動する。〈主学①〉</p>
<p>12. おもてなしをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・お世話になった方に感謝の気持ちを伝えさせる。 	<p>◇感謝の気持ちを手紙で伝える。</p>
<p>13. 餅まきをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・餅を使った地域特有の活動をさせる。 	<p>◇食の多様性や地域性に気づく。〈思・判・表①〉</p>
<p>14. 活動を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの活動を振りかえさせ、どのような学びがあったのかをまとめさせる。 	<p>◇これまでの活動を振り返り、反省する。</p>